



認定特定非営利活動 (NPO) 法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 17

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

① UAEジュニア、アネマンコーチと(東海大学) ②第16回講演会(東京・千代田区) ③リサイクル柔道衣を着た選手(スーダン・ハルツーム)
④UAEへ指導派遣(UAE・アブダビ) ⑤武道センター開所式(ロシア・モスクワ) ⑥交流会(東京・千代田区)

国際的な柔道の普及「自他共栄」を実現するために

—To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。現在、国際柔道連盟(IJF)には、200の国と地域が加盟しています。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

—We communicate the Japanese spirit.

現在の国際情勢を考えると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

—Educate youth through judo.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県庁から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。



特定非営利活動法人(神奈川県認定)
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第17号

2015年4月1日発行 Published 1st of April 2015

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 17

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

「柔道きほん運動」DVD制作

相手にケガをさせない自分もケガをしない「柔道きほん運動」DVD制作について～第16回講演会より抜粋～



第16回講演会で2014年度上半期の活動を話す山下理事長

「柔道きほん運動」のDVDについてご報告させていただきます。柔道による事故で命を落とした、または重い障害を負うことになった、といった報道を多くの方が耳にされていると思います。全日本柔道連盟としても、2013年8月から新しい体制になり宗岡正二会長の下、こうした問題に真剣に向き合って取り組んでいます。被害者の方々とも連携しながら、柔道による「重大事故ゼロ」を目指して、さまざまな取り組みを進めているところです。

DVD制作にあたって、私が全日本の監督を務めていた時に、チームドクターをお願いしていた東海大学体育学部教授の宮崎誠司先生に協力・監修していただきました。宮崎先生は日本体育協会からの研究費を得て、柔道で事故が起きないようにするにはどうしたら良いかを研究しておられます。事故を無くすためには、基本の運動を通して基礎体力を作ることが重要であること、そのための開発プログラムを授業でやっておられました。その研究を拝見し、この成果をDVDにして指導の現場に周知することで、重大な事故が無くなり、けがも減るのではないかと考えました。そこでDVDの作成を企画したというわけです。

さまざまな方に協力をいただき、12月に2000枚のDVDが完成いたしました。主に小学校、中学校、高校で柔道を指導している方々に、出来るだけ多く配布して、現場の指導に役立てていただきたいと思っております。

これとは別に全日本柔道連盟でも、どのような状況で事故が起きるのかを検証、解説し、不慮の事故が起きてしまった場合にどう対応すべきかを説明したDVDを作っております。この二つのDVDを活かして、以前のように柔道は身を守る、安全なスポーツであると、改めて皆さまに認識していただけるよう、柔道界への信頼を取り戻して行きたいと考えております。

特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー（神奈川県認定） 理事長 山下泰裕

主な活動 (2014年6月～2014年12月)

- Major Activities -

| 年月日 | 事業内容 |
|-------------------|---|
| 2014年6月 | リサイクル柔道衣のお礼状がポツワナより届きました(ポツワナ・ハポローネ) |
| 2014年7月 | リサイクル柔道衣100着がコロンビアへ到着(コロンビア・ポゴタ) |
| 7月2日～30日 | キリギスより女子選手3名、コーチ1名を受入(東海大学等) |
| 7月16日 | 留学生柔道体験教室を開催(東海大学) |
| 7月21日～27日 | 日中友好青島柔道館の小学生チームが来日(東海大学・望星学塾等) |
| 2014年8月 | リサイクル柔道衣100着がブラジルへ到着(ブラジル・サンパウロ) |
| 8月2日～19日 | ボランティア学生をラオスへ派遣(ラオス・ビエンチャン) |
| 8月2日～9月2日 | UAEよりジュニア選手7名、コーチ1名を受入(東海大学等) |
| 8月2日 | 留学生柔道体験教室を開催(東海大学) |
| 8月5日～8日 | 東海大学望星学塾の国際親善週間を支援(東海大学) |
| 8月10日～16日 | 佐藤愛子さんをアメリカ・サンノゼ大学へ派遣(アメリカ・カリフォルニア州) |
| 8月25日～9月8日 | 藤井岳氏をアメリカ・ワシントン及びアナポリスへ派遣(アメリカ・ワシントン等) |
| 2014年9月 | リサイクル柔道衣92着がラオス、44着がザンビアへ到着(ラオス、ザンビア) |
| 9月21日 | 『柔道きほん運動』DVDの撮影を行う(東海大学) |
| 2014年10月28日～11月8日 | UAEへ光本国際担当師範、高橋健司氏、学生ボランティアを派遣(UAE・アブダビ) |
| 2014年11月5日～12日 | ロシアへ山下理事長・浅井ロシア担当を派遣(ロシア・モスクワ) |
| 11月9日～12月8日 | 8カ国より柔道指導者を受入れ、コーチングセミナーを開催(東海大学他) |
| 11月30日 | Rusty Kanokogi Memorial 第34回塾友杯柔道少年大会を共催(東京・望星学塾) |
| 2014年12月 | リサイクル柔道衣5着がスーダン、100着がチュニジアへ到着(スーダン、チュニジア) |
| 12月2日 | 第16回講演会を開催(東京・千代田区) |
| 12月7日 | 第6回中郡柔道研修大会を支援(神奈川・大磯町) |

教材制作事業

2014年9月21日、有限会社稲葉プランニングのご協力の下、『相手にケガをさせない自分もケガをしない～柔道きほん運動～』DVDの撮影を行いました。このDVDは、東海大学体育学部宮崎誠司教授が協力・監修し、「平成25年日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 I ジュニア期におけるスポーツ外傷障害予防の取り組み」を元に制作しています。



宮崎教授(左)と稲葉プランニング稲葉氏(右)



DVD撮影に協力した東海大学柔道部の部員

On September 21st, 2014, we filmed a DVD titled "For not Injuring Other People and not Getting Injured - The Basic Movements of Judo - ", with the cooperation of Inaba Planning Ltd.

2014年9月21日、羽田タートルサービス株式会社及び有限会社稲葉プランニングのご協力の下、『相手にケガをさせない自分もケガをしない～柔道きほん運動～』DVDの撮影を東海大学武道館で行いました。平成25年日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 I ジュニア期におけるスポーツ外傷障害予防の取り組みの論文発表を行った、東海大学体育学部の宮崎誠司教授の研究を元に制作しています。また、DVD制作にあたり宮崎教授に協力、監修をしていただきました。

収録されている内容は、練習を行う人のレベルによって5段階に分けられています。第1～2段階では、初心者向けの簡単な運動、第3～5段階では中級者向けの運動となっています。現在行われている練習に付け加えることでケガ予防プログラムを身に付けられるよう構成しています。

撮影は、初心者向けの運動では、小学生の宮崎翔君、宮崎しずくさん、中級者向けの運動では東海大学柔道部の皆さんがお手本となり実際の動きを見せています。

2014年12月に、DVD2000部が完成しました。このDVDは、「ケガのない柔道界」を目指し、教育機関を中心に必要に応じて無料配布するとともに、誰でも見ることが出来るようWEB上での公開もしております。



Youtubeにて、柔道きほん運動を見ることが出来ます。
「柔道きほん運動」で検索して下さい。

第16回講演会

12月2日、東京都千代田区の日本教育会館にて、第16回講演会「日中友好柔道館の歩み—青島柔道館と南京柔道館からの報告—」を開催しました。日中友好青島柔道館より王華さん、日中友好南京柔道館より常東氏が来日し、日中友好柔道館の開館からこれまでの経緯を話しました。

On December 2nd, the 16th annual lecture meeting, "The History of the Japan-China Judo Friendship Centers - Reports from the Qingdao and Nanjing Centers - " was held at the Japan Education Center in Chiyoda-ku, Tokyo. Ms. Wang Hua from the Qingdao Center and Mr. Chang Dong from the Nanjing Center came to Japan, and introduced the history of each center since their launch.



講師の日中友好青島柔道館の王華さん(右)と日中友好南京柔道館の常東氏(左)



講演後に、山下理事長が研修生に修了証書を授与

12月2日(火)、東京都千代田区の日本教育会館9階飛鳥の間にて、日中友好柔道館の指導者2名を招き、第16回講演会「日中友好柔道館の歩み—青島柔道館と南京柔道館からの報告—」を開催しました。講演会には、100名ほどの聴講者が集まりました。

会の初めに、山下理事長が「上半期の活動報告」を行いました。日仏合同事業としてイスラエル・パレスチナへの指導者派遣、Sport for Tomorrow事業の一環としてリサイクル柔道衣を各国へ贈呈、UAEの交流事業、日露武道交流年、ケガ防止のDVD製作、8カ国からの研修生を受け入れた2014年度コーチングセミナーの事業報告をしました。

講演会では、日中友好青島柔道館総幹事の王華さん(研修生OG、2009年10月～2010年3月)が話しました。2005年から始まった日中友好青島柔道館開館への動き、実際に2007年11月に開館してからの柔道館運営の様子や、運営にあたって苦労したことや改善していったことを話しました。また、2007年から続く柔道館の子どもたちと日本の子どもたちとの交流により日本文化の理解が進んでいった様子など話しました。

その後は、日中友好南京柔道館ジュニアチーム監督の常東氏(研修生OB、2009年11月～2010年4月)が2010年に開館した「日中友好南京柔道館」の運営状況などを通訳を通し、報告しました。柔道館が開館したことによって、南京で柔道が盛んになったこと、柔道館のみならず近隣の警察学校に指導者を送るようになったことなど柔道館の発展の様子を話しました。

講演会終了後に、2014年度コーチングセミナー(11月～12月)の研修生8名の修了式が行われ、研修生が日本語で挨拶を行いました。研修生のマイケル・コーン氏は、挨拶の中で「望星学塾の近くの松前先生のご自宅の茶室を見学させていただきました。武器を持って入る事のない茶室の中で、武器を持つことなく、一人の人間として、相手と対峙する大切さを学びました。私たち研修生は、まだ争いがある国もあります。けれど、日本という茶室で、一人ひとり人間として交流を持つことが出来ました」と話しました。

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

スーダン The Republic of Sudan

2014年6月にスーダン・ハルツーム市に送付したリサイクル柔道衣5着が、同年12月に到着しました。JICA青年海外協力隊で活動している長澤茜隊員を通して、アッロビヤージュスクラブへ贈呈されました。



青年海外協力隊として2013年10月よりスーダン共和国ハルツーム大学で日本語を教えています長澤茜と申します。

この度、寄贈していただいた柔道衣が、アッロビヤージュセンターの柔道教室に到着いたしました。私がこの柔道教室を知ったきっかけは、日本語コースの教え子が所属していたことでした。見学に行き、一生懸命練習をしている彼らのひたむきな姿に感銘を受け、何か手助けができないかと思い、柔道衣の申請をさせていただきました。

最近、柔道衣を販売していた店が柔道衣を扱わなくなり、また、子ども用の柔道衣に関しては、スーダンではもともと販売をしているところがないので、非常に喜んでいました。子ども用の柔道衣を寄贈していただいたことで、早い段階から子どもたちが柔道をでき、経験豊富な強い選手の育成ができると思っていました。

他国に比べると、柔道人口は少ないかもしれませんが、日本の柔道を愛している姿を見ると、日本人として今後も彼らを応援したいという気持ちにさせられます。今後ともスーダンの柔道を応援していただければ幸いです。

JICA青年海外協力隊 スーダン 長澤茜

ボツワナ The Republic of Botswana

2014年1月にボツワナに到着したリサイクル柔道衣50着が実際に活用され、JICA青年海外協力隊で活動していた井坪圭祐氏を通し、お礼状が届きました。



NPO法人の皆さま、私は今とても興奮して手紙を書いています。そして、皆さんからの素晴らしい柔道衣を受け取り大変嬉しく思っています。そして、井坪先生を私たちの国に派遣して下さいありがとうございます。先生のおかげでたくさん学ぶことが出来ました。

私たちは、アフリカ少年柔道選手権大会でたくさんの金メダルをとることができました。是非、私たちの国にも来て下さい！本当にありがとうございました。HOMSA 事務所

この度は、ボツワナ柔道の発展のために大きな支援を下さり感謝申し上げます。皆さまのご寄付が、私たちや国に大きな利益をもたらすでしょう。いつか私はとても素晴らしい国、日本に行きたいと思っています。そして、ボツワナがいつの日か柔道の発展した国になることを望んでいます。本当に、ありがとうございました。Lucky Mbaka

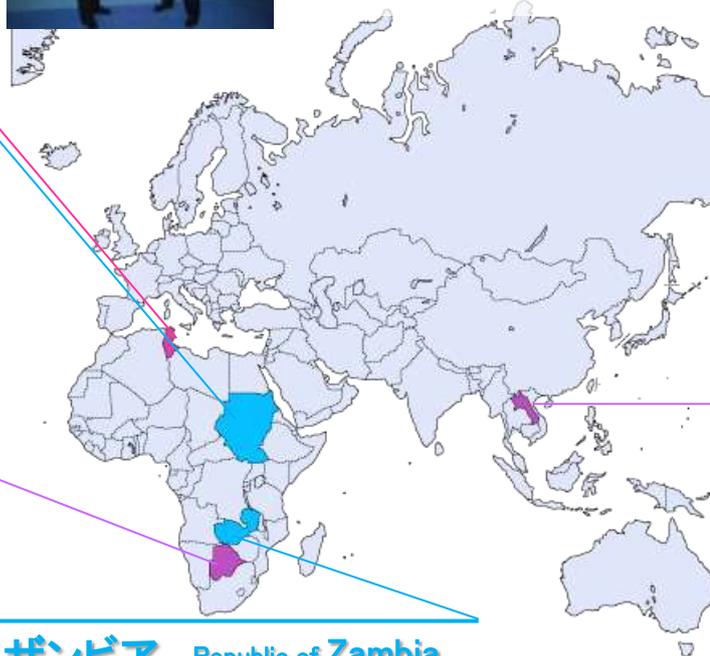
私たちのために柔道衣をご寄付していただき感謝いたします。皆さまの大きな支援は、私たち、ボツワナ柔道連盟にたくさんのお返しをもたらしました。私たちはいただいた柔道衣を着て練習を行います。そして、皆さまとの友情がここから続くことを楽しみにしています。ありがとうございました。Min Yoong

チュニジア Republic of Tunisia

2014年4月にチュニジアに送付したリサイクル柔道衣100着が同年12月に到着し、在チュニジア大使館を通しチュニジア柔道連盟に贈呈されました。このリサイクル柔道衣贈呈は、Sport for Tomorrowへの事業協力です。



柔道教育ソリダリティーの皆さま
チュニジア柔道連盟執行委員会は、当国における柔道の普及・発展のために、若手選手用の柔道衣100着を寄贈頂きましたことに深く感謝致します。
チュニジア柔道連盟 Skander HACHICHA



ザンビア Republic of Zambia

2014年6月にザンビア・マザブカ市に送付したリサイクル柔道衣44着が、同年9月に到着しました。JICA青年海外協力隊で活動している山本佳苗隊員を通して、マザブカ市セントエドモンド中等学校へ贈呈されました。



この度は、「世界の笑顔のために」プログラムを通じて貴重な柔道衣をご提供いただき、誠にありがとうございました。柔道衣は、先般、首都ルサカから学校に運ばれ、無事に柔道クラブのメンバーの手に渡りました。

柔道クラブは、指導者であった同任地の隊員の帰国、貸与を受けていたマットレスの返還などから、練習が停滞気味となっていました。そんな中、皆さまからの温かいサポートを受け、生徒たちも奮起しております。また、頂いた柔道衣を学校の管理の下、大切に扱っていき、管理方法も話し合っています。ありがとうございました！

JICA青年海外協力隊 ザンビア 山本佳苗

この度、我がセントエドモンド中等学校にご寄付いただいた柔道衣につきまして心よりお礼申し上げます。頂いた44着の柔道衣は、我が校で柔道の活動を行っている生徒たちの力添えるものとなるでしょう。ありがとうございました。セントエドモンド中等学校 校長ミヨバ・チャールズ

Judo Recycled Judogis and Tatami

ラオス Lao People's Democratic Republic



2014年6月にラオス・ビエンチャン市に送付したリサイクル柔道衣92着が、同年8月に到着しました。JICAシニアボランティアで活動している坂東雅邦氏を通して、ラオス青年同盟柔道クラブへ贈呈されました

柔道教育ソリダリティー殿に置かれましてはお元気に活動まい進されておられる事と拝察いたします。また、柔道指導者の御派遣、11月のコーチングセミナーへの御招待など数々の御支援に心より感謝申し上げます。今般は加えて貴重な柔道衣を多数ご提供いただきまして、重ねてありがとうございました。おかげさまで8月にJICAの支援で新たに立ち上げたラオス青年同盟武道センターに集う子どもや若者たちが柔道衣を着て稽古が出来るようになりました。

ラオス柔道は1960年代から多くの日本人の方々の御支援で、小国(人口670万人)ながらも東南アジアの国際大会でメダルも獲得出来るようになりました。今後は、更に底辺を広げて柔道教育を通じて健全なラオスの若者を多く輩出し、多少なりともこの心優しい国の発展に寄与できればと願っております。今後ともラオス柔道への御支援をよろしくお願い申し上げます。ご提供に感謝申し上げますと共に、貴NPO法人のますますのご活躍を常夏のラオスより祈念申し上げます。

ラオス柔道連盟顧問 ラオス・日本武道館事務局次長 JICAシニアボランティア 坂東雅邦

コロンビア Republic of Colombia

2014年7月にコロンビアに送付したリサイクル柔道衣100着が同年7月に到着しました。外務省を通し、コロンビアを訪問していた安倍首相が、この柔道衣をコロンビア・スポーツ庁に贈呈しました。このリサイクル柔道衣贈呈は、Sport for Tomorrowへの事業協力です。



7月28日～30日の期間、コロンビアを訪問した安倍首相がSport for Tomorrowの一環として、コロンビア・スポーツ庁に対し、本法人が用意させていただいた柔道衣100着を寄付しました。

本法人は、Sport for Tomorrow事業を支援し、2020年まで、多くの国々の選手が東京オリンピック・パラリンピックに出場できるように、物的、人的交流などで協力していきます。

ブラジル Federative Republic of Brazil



2014年7月にブラジルに送付したリサイクル柔道衣100着が同月に到着しました。外務省を通し、ブラジルを訪問していた安倍首相が、柔道衣をブラジル柔道連盟に贈呈しました。このリサイクル柔道衣贈呈は、Sport for Tomorrowへの事業協力です。

2014年8月2日にブラジル、サンパウロにて行われた「Sport for Tomorrow ～日伯スポーツの絆～」にて、リサイクル柔道衣100着がブラジル柔道連盟及びヴァンデルレイ柔道協会会長に贈呈されました。「日伯スポーツの絆」には、中南米諸国を訪問していた安倍総理大臣、世耕官房副長官、木村総理大臣補佐官、梅田駐ブラジル大使、福嶋在サンパウロ総領事などが参加しました。

NPO法人柔道教育ソリダリティー 山下泰裕 殿

ブラジル柔道連盟を代表し、安倍総理がブラジルにご訪問された8月2日、サンパウロで実施されたイベント「Sport for Tomorrow」における柔道衣100着の御寄贈に感謝申し上げます。これらの柔道衣は選手のみならず、寄贈先であるサンパウロの貧しい地域の若者達にとっても非常に有益なものとなるでしょう。

また、ブラジル講道館柔道有段者会に対しても、今回の寄贈を実現するに当たりご支援を頂いたことに感謝いたします。このイベントに参加し、柔道を通じた日伯間の友好関係が強化されたことについて光栄に思います。

ブラジル柔道連盟会長 パウロ・ヴァンデルレイ・テイシェイラ



外国からの指導者・選手受入支援事業

キリギス女子柔道チーム

Kyrgyz Woman Judo Team

2014年7月2日～30日の期間、キリギスより女子柔道選手3名、指導者1名を受入れました。本法人は、東京オリンピック・パラリンピックに向け、柔道発展途上国の女子選手の強化を支援しています。

From July 2nd to 30th, 2014, we welcomed three female judo players and a coach from the Kyrgyz Republic. With the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games in consideration, we are supporting the efforts of strengthening female judo players in the countries where judo is not widely recognized.



キリギス女子ナショナルチームが事務局を訪れる

2014年度からの事業として、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに多くの国の柔道選手が出場できるよう支援する事となりました。支援内容には物質的なこと、コーチと選手育成があります。柔道発展途上国では特に女子選手及びコーチの育成が求められています。そこで2014年は、キリギス女性ナショナルチームから女子選手3名とコーチ1名を招へいしました。東海大学を中心に、光本国際担当師範が中心になって指導を行いました。女子選手たちは、東海大学女子柔道部の練習に参加し、瀨名道場、横須賀学園柔道部、望星学塾でも研修をさせていただきました。この場をかりてお礼申し上げます。

キリギス女子ナショナルチーム、Artamonov Olga コーチからの礼状です

キリギスナショナルチームのコーチ1名、選手3名を日本で強化合宿をさせていただきました。初めは東海大学でトレーニングをし、女子の準備運動から反復練習、全てのトレーニングに参加させていただきました。それは、私達の経験したことない、とても有意義なものでした。

練習やジムの雰囲気はとてもよく、コーチ、先輩そして他者への配慮がありました。乱取りの取り組みを見て、日本の中で東海大学が強いことが分かりました。私達がどのように練習を進めて行くか、その必要性を学ぶことが出来ました。乱取りでも多くのことを学ぶことが出来ました。

中西先生、竹内先生、白瀬先生、石川君、石井君、そして2回の講演を下された山下先生、多くの時間を私達のために使って下さった光本先生、本当にありがとうございました。私達は、皆さまからたくさん柔道の知識を学ぶことが出来ました。今回の研修が今後の私達の大きな助けとなると期待しています。

NPO法人柔道教育ソリダリティーの皆さまのご支援が無ければ、素晴らしい国の日本で、東海大学で練習をすることも出来なかったでしょう。私たちに支援の手を差し伸べて下さった皆さまに感謝いたします。本当にありがとうございました。また、国際大会に日本チームと一緒に準備出来ることを願っています。



瀨名道場での研修で瀨名智男・三代子両先生と

日中友好青島柔道チーム

Japan-China Judo Friendship Center in Qingdao

2014年7月21日～27日の期間、日中友好青島柔道館の子どもたち13名、役員5名が来日しました。東海大学(湘南校舎)、瀨名道場(大磯町)、加藤道場(秦野市)、望星学塾(武蔵野市)で日本の子どもたちと柔道を通じた交流をしました。

From July 21st to 27th, 2014, 13 junior judo players and five officials from the Japan-China Judo Friendship Center in Qingdao visited Japan.

日中友好青島柔道館 王華さんからの礼状です

2014年7月21日～27日の7日間、山下先生はじめ柔道教育ソリダリティーの皆さまのご支援の下、日中友好青島柔道館の子どもたち13名と日本に研修旅行に行きました。

初めの3日間は、東海大学に滞在しました。東海大学では、光本先生より柔道の指導をしていただきました。光本先生は、新しい練習方法を次々に教えて下さり、大変勉強になりました。また、山下先生に講義をしていただきました。山下先生は、子どもたちに柔道の創立と発展についてお話下さり、子どもたちは日本の柔道の文化の精髓を学ぶことが出来ました。他の日には、瀨名道場、加藤道場、望星学塾で練習させていただきました。日本の子どもたちの柔道のレベルはとても高いです。柔道館の子どもたちは、必死になって、何度倒されても立ち上がっていました。日本での練習は、子どもたちにとても刺激になりました。

柔道以外では、ディズニーランド、東海大学海洋博物館、三保海岸を見学させていただきました。子どもたちは、どこに行っても清潔な日本の環境に驚いておりました。また、砂浜では、リラックスした表情を見せ、青島と違う形の砂浜に興味があるようでした。7日間という短い期間ではありましたが、たくさん場所を見学させていただき、多くの事を学ぶことが出来ました。

子どもたちは、毎年、日本に行くことを本当に楽しみにしております。いつも、継続した支援を下さり心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



来日初日、少し緊張した表情の子どもたち



加藤道場での練習、加藤学先生の話聞く

アラブ首長国連邦(UAE)ジュニアチーム

United Arab Emirates

2014年8月2日～9月2日の期間、東海大学の協力の下、アラブ首長国連邦(UAE)ジュニアチームの選手7名、コーチ1名を招へいました。

From August 2nd to September 2nd, 2014, we invited seven junior players and a coach from the UAE, with the cooperation of Tokai University.



学園オリンピックでは、アナマン監督が招へいへの謝辞を述べる

UAEでは、2015年9月より15地区の小中学校で柔道を授業に導入する予定です。そんな中、アブダビ首長国の皇太子ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーン殿下から山下泰裕理事長らを通して柔道普及のための協力の要請がありました。そこで東海大学が中心となり、UAEチームを受け入れることになりました。その中で本法人は、ジュニアチーム8名の受入れに関して支援を行いました。

受入れに当たっては、光本国際担当師範が中心となり指導を行いました。8月6日には、東海大学武道館で行われた「学園オリンピック」に特別に参加させていただきました。初めての日本人選手との試合では、実力差がある場面も見受けられましたが、女子選手のメイサさんが準優勝しました。試合後には「次に会う時に向けて、一生懸命練習を行いたい」と感想を述べる選手もあり、日本での試合に刺激を受けた様子でした。

2015年の世界ジュニア選手権大会は、UAEのアブダビで行われます。監督のアナマン氏は、「日本で開催される大会に出られるよう努力していきたい」と述べました。

光本国際担当師範は、今回の支援を通し「現状では、UAEでは地元で育成した選手というのが少ないと聞いている。今後も、選手やその指導者を育てるために、技術支援が出来たらと考える。プログラムの構築や指導者の派遣などで協力していきたい」と話しました。

アフガニスタン女子柔道選手

Islamic Republic of Afghanistan

2014年9月5日～9月27日の期間、カナダ、スティーブストン柔道クラブよりフリーバ・レザイ(アフガニスタン)さんを受入れました。

From September 5th to 27th, 2014, we welcomed Ms. Fryba Rezaï (from Afghanistan), a member of the Steveston Judo Club in Canada.



東海大学女子柔道部員ともすぐに打ちとける



女子部員とランチを一緒にしたフリバさん

2014年9月5日～9月27日の期間、アフガニスタン人のフリーバ・レザイさんを受入れました。フリーバさんは、カナダでスポーツ心理学を勉強し、現在もカナダに滞在し、スティーブストン柔道クラブで練習を行っています。スティーブストン柔道クラブは、東海大学と長年交流があり、今回の受入れは、東海大学を通して、フリーバさんより、日本で研修を行いたいと依頼があり、決定しました。フリーバさんは、2011年11月から半年間研修生として受け入れたファヒマ・レザイさんの姉です。フリーバさんは、東海大学女子柔道部と共に練習を行い、たくさん女子柔道部のみなさんと交流を持ちました。

ガーナ男子柔道選手

Republic of Ghana

2014年11月14日～12月11日の期間、ガーナよりエマニュエル・ナーティー氏を受入れました。

From November 14th to December 11th, 2014, we welcomed Mr. Emmanuel Nartey from Ghana.



ガーナ代表としてグランドスラム東京に出場する(左が)ナーティー氏

2014年11月14日～12月11日の期間、ガーナ人のエマニュエル・ナーティー氏を受入れました。ナーティー氏は、イギリスのバース大学大学院で経済学を学びながら、夜は柔道部の練習に参加しています。2010年にも本法人で受入れをしていますが、今回はグランドスラム東京の出場のために来日しました。2014年12月6日に行われたグランドスラム東京の試合では、3回戦まで勝ち進み、ガーナ柔道選手として大変良い成績をおさめました。試合後に行われ講道館での国際合宿にも参加し、世界トップクラスとの練習に励みました。

外国からの指導者・選手受入支援事業

2014年11月9日～12月8日の期間、柔道発展途上国より若手柔道指導者8名を受入れコーチングセミナーを開催しました。

From November 9th to December 8th, 2014, we welcomed eight young judo coaches from countries where judo is not widely played, and conducted a coaching seminar.

2014年11月9日～12月8日の期間、柔道発展途上国より若手柔道指導者8名を受入れコーチングセミナーを開催しました。今回のセミナーは、光本国際担当師範が全面的にコーディネートしました。東海大学で柔道の指導方法を中心に、スポーツマッサージ、テーピング方法、リハビリ方法なども学習しました。また、日本の少年柔道の研修として、朝飛道場(横浜市)、濱名道場(大磯町)、桐蔭横浜大学(横浜市)、望星学塾(武蔵野市)などで研修しました。協力して下さった皆さまに感謝申し上げます。



来日翌日には、講道館で日本の柔道について学ぶ



濱名道場の濱名智男先生の「投げの形」の指導。



石田智子先生(東海大学講師)よりスポーツマッサージを学ぶ



今村貴幸先生(東海大学講師)のリハビリの授業



東海大学武道学科吉村哲夫教授の指導で剣道を体験する



朝飛道場の練習に参加



花岡美智子先生(東海大学講師)よりテーピング方法を学ぶ



高専柔道発祥の地、京都旧武徳殿を訪問



アブドゥール・カリーム・アブ・ラミラ Abdul Kareem Abu Rmilah

パレスチナ柔道チーム テクニカルディレクター



Palestine

私はパレスチナから来たアブドゥールです。今回、ご招待いただいた山下先生と東海大学に感謝したいと思います。そして、指導してくれた光本先生にも感謝しています。先生は私達のお父さんのような存在です。とても美しい恵子さんにも感謝したいです。彼女はお母さんのような存在で、いつも一緒にいてくれました。皆さんと一緒に過ごし、家族のようになりました。皆さんが与えてくれたことをパレスチナに大切に持って帰ります。今回は本当にありがとうございました。



バー・イドー Bar Ido

アラジン柔道クラブ コーチ



Israel

私はイスラエルから来たイドーです。日本で、他の7人の研修生と共に、柔道と日本文化を勉強させていただきました。光本健次先生から柔道を教わり、広島や京都に旅をして、たくさんの方の事を学ぶことができました。今回の経験が一番良かったことは、様々な国の人々と新しい友情を作れたことです。言葉や文化は異なりますが、我々は柔道で繋がっています。NPO法人の皆さん、本当にありがとうございました。



胡 李宇 Hu Lining

日中友好青島柔道館 ヘッドコーチ



China

中国から来ました胡李宇です。私に大切な勉強の機会を与えてくれた山下先生、光本健次先生、恵子先生、小澤先生、すべての先生方に感謝します。研修の期間は、すべてが素晴らしい時間でした。柔道の歴史を学び、試合にも参加させていただきました。試合を通じて、試合前後のリラックス方法、ケガに対する予防や対処を実際に学ぶことが出来ました。柔道への意識が大きく変わりました。

休日には、恵子さんや小澤さんと広島や京都に行きました。広島では資料館で核兵器の恐ろしさを実感し、京都では世界遺産を見学して美味しい料理をたくさんいただきました。日本に対する見方も深くなりました。日中友好は両国の切実な願いです。中国に帰ったら日中友好のために努力をします。そして子どもたちを国籍に関係なく大切にします。機会があったらぜひ中国に遊びに来てください。ありがとうございました。



ジーン・ノエル・ペナビヤ Jean Noel Pennavayre

リビエラ柔道クラブ ヘッドコーチ
コートジボアールナショナルチーム テクニカルディレクター



Côte d'Ivoire

私はジーン・ノエルです。コートジボワールから来ました。このプログラムに参加でき、とても光栄に思います。山下先生とNPO法人の皆さん本当にありがとうございました。日本での経験はとても素晴らしいものでした。柔道を教えてくれた先生方、東海大学の皆さん、特に光本健次先生と恵子さんに感謝しています。ありがとうございました。



モハメド・カミス・ジュマ Mohamed Khamis Juma

タンザニア柔道 クラブコーチ ・ タンザニアナショナルチーム ヘッドコーチ



Tanzania

はじめに柔道教育ソリダリティーの皆さんと、お手伝いいただいた方々に感謝したいと思います。山下先生、本当にありがとうございました。光本健次先生、たくさんの柔道の指導をありがとうございました。恵子さん、浩子さん、いつも面倒をみてくれてありがとうございました。柔道だけではなく、日本の文化もたくさん学びました。柔道は友情と平和をもたらすことができます。柔道は私の生きる道です。今回の研修で学んだことをタンザニアに帰って伝えることを誓います。本当にありがとうございました。



パリタ・プロマラ Palitha Phrommala

ラオスナショナルチーム トレーニングコーチ



Lao

この度、山下先生には貴重な機会を設けて頂き、心より感謝致します。また、NPO法人の方々にも感謝を致します。面倒を見ていただきありがとうございました。これまで日本で多くの研修を経験して参りましたが、今回の研修が一番印象に残りました。何故なら、柔道の技を学ぶだけでなく、日本の文化や歴史なども理解することができたからです。特に、広島で第二次世界大戦での原爆被害について学び、京都で昔の家やお寺を観光し、生活習慣などを体験させていただいたことは本当に貴重な経験でした。

今回の研修では、アメリカ、アフリカ、アジアといった様々な大陸からの参加者がいました。一緒に練習する中で、共に柔道や日本文化への理解を深め、彼らと兄弟のように感じるようになりました。このような素晴らしい研修を、ぜひこれからも継続していただけたらと思います。そして、世界の多くの方々へ練習に参加して、私たちが得たような貴重な体験を、自国で活かしていただけたらと期待しています。ありがとうございました。



ロイ・タカユキ・カワジ Roy Takayuki Kawaji

ポートランド柔道クラブ 所属



America

NPO法人と山下先生のおかげでさまざまな国の方々と一緒に過ごすことができ、とても有意義な研修を持つことができました。グアムから来た同じアメリカ人のマイケルとは、太平洋を挟んで友達になりました。この間まで正確な場所を知らなかったパレスチナにもアブドゥールさんという友人ができ、その隣のイスラエルについても、イドーさんからいろいろと教えていただきました。アフリカのコートジボワールのジョンさん、タンザニアのモハメドさんと友達になりました。どちらの国にも行ったことがないので、ぜひ遊びに来てくれと誘ってもらいました。ラオスから来たパリタさん、中国から来た胡さんにも出会って、ま

さしく地球を一周旅したような気持ちになりました。このような交流を持てたのは、日本が平和であるからだと思います。日本という国は、母親が子どもを抱いているような温かさを感じる国です。そういう人たちがいる素晴らしい国だと思います。

日本語を勉強して、素敵な言葉を贈りたかったのですが、私の語学力では良い言葉が見つかりませんでした。本当に申し訳ありません。私の「ありがとう」という言葉が、皆さんに伝わればとても嬉しいです。本当にありがとうございました。



マイケル・コーン Michael Kohn

グアムナショナルチーム ジュニアトレーニングコーチ



Guam

私はグアム代表として今回のコーチングセミナーに招待していただきましたマイケルです。このような機会はなかなか無いので、とても光栄に思います。今回のセミナーは柔道の勉強だけではなく、人間教育もとても豊富でした。異なる国々から来日した私たちは、この1カ月間を毎日一緒に過ごし、自分たちの国の柔道教育や文化、言葉、宗教などについて教え合いました。一般の生活では、なかなか学べないことがたくさんありました。一番心に残っているのは、橋本先生が松前重義先生のお宅を案内して下さり、先生のご自宅の小さな茶室に行った時です。昔の武士たちは、茶室に入る際には外に武器を置き、茶室の

中では人間として心から話をしたと聞きました。私たち8人の中には、お互いの国が戦っている者もありますが、今回は日本という茶室で同じ人間として友情を育み、「柔道を通して、平和な世界を作れたら」と話すことができました。皆で力を合わせたら絶対に可能な話です。私はその日がより早く来ることを期待しています。そのためにも、グアムに帰って柔道の指導だけではなく、日本で学んだすべてを生徒たちに教えて頑張りたいと思います。今回は素晴らしい経験と勉強をさせていただき、本当にありがとうございました。

外国への指導者派遣事業

サンノゼ大学(アメリカ・カリフォルニア)派遣

2014年8月10日～16日の期間、世界柔道選手権2011/パリ大会57kg級金メダリストの佐藤愛子さんをアメリカ・カリフォルニア州、サンノゼ大学へ派遣しました。

From August 10th to 16th, 2014, we sent Ms. Aiko Sato to San José State University, California, the United States.



サンノゼ大学で再会、親友のマーティ・マロイ選手と



世界で活躍する選手も所属するサンノゼ大学柔道部の皆さんと

佐藤愛子さんの報告です

2014年8月10日～16日の期間、柔道教育ソリダリティーの仙石通泰理事よりご推薦を頂き、アメリカ合衆国カリフォルニア州のサンノゼへ柔道指導に行っていました。派遣先であるサンノゼは、私が2012年から語学留学と柔道指導を兼ねて約1年間お世話になった場所です。

指導は、サンノゼ到着翌日から帰国日までの約1週間行いました。サンノゼでの練習は、毎日長時間の稽古を行う日本式とは異なり、乱取稽古は1日おき、残りの日は打ち込みや投げ込み、ウエイトトレーニングを行うというスケジュールでした。1回の練習時間は短いものの、とても内容の濃いものでした。

滞在中は近くの町道場の、ブーデスト柔道クラブに足を運び、小中学生を対象に技術指導を行いました。サンノゼは、全米を通して最も柔道の盛んな地域であり、柔道クラブでも幼稚園児から大人まで約100人が週3日汗を流しています。ここでは特に、釣り手や引き手の握る位置や、技を仕掛ける際の目線の位置など、基本的なポイントに重きを置き、指導を行いました。また、ミニゲームを取り入れながら、柔道は楽しいものであるということを実感してもらいました。

今回の私の活動が、微力ながらサンノゼのみならず、アメリカ柔道界の発展に繋がれば幸いです。今後も、日本発祥の柔道の素晴らしさを国内だけではなく、世界に伝えていけるよう、技術指導および選手の育成に力を入れてまいります。

今回の指導派遣にあたり、ご支援ならびにご協力いただいた、柔道教育ソリダリティー理事の仙石先生、理事長の山下泰裕先生、サンノゼ柔道関係者の皆さま、その他、多数の関係者の方々に心から御礼申し上げます。今回の経験を生かし、私自身より一層精進してまいります。

ワシントン柔道クラブ・アナポリス派遣

2014年8月25日～9月8日の期間、慶應義塾大学大学院の藤井岳氏をアメリカ・ワシントン地区のワシントン柔道クラブ及び首都近郊の米海軍士官学校へ派遣しました。

From August 25th to September 8th, 2014, we sent Mr. Gaku Fujii to the Washington Judo Club in Washington, D.C, the United States, and also to the United States Naval Academy near Washington, D.C.

藤井岳氏の報告です

2014年8月25日～9月8日の2週間、アメリカ・ワシントンD.Cのジョージタウン大学で活動しているワシントン柔道クラブとアナポリスにある海軍士官学校柔道部で指導をさせて頂きました。

ワシントン柔道クラブは、毎週月・水・金曜日に活動しており、その練習全てに参加しました。最初の練習は普段彼らが行っているメニューと一緒にこなし、2回目からはそれを参考に、準備体操から私の考えたメニューで練習を組み立てさせてもらいました。

海軍士官学校では、基本的に週末を除く毎日練習があり、私は火・木曜日に参加させてもらいました。士官学校で柔道を始めた選手がほとんどということもあって、乱取りなどの実践よりも、打ち込みや投げ込みなどの反復練習が多く取り入れられていました。私は、彼らの質問に答えたり、得意技を見せたり、新しい練習方法の提案をしました。

私は、本当の意味で柔道の楽しさ、価値をまだ知らないのかもしれませんが、私が15年以上も競技一筋でやってこられたのは、ある程度「勝つから」です。その中で人間教育的な要素ももちろん大切にしてきましたが、それはあくまで勝つことを目的とした厳しい鍛錬の先にあるものだと思ってきました。もし仮に、誰にも勝たず、レギュラーにも入れず、投げられてばかりの日々だとしたら、私はきっと柔道から逃げ出していたと思います。ところが、アメリカの選手たちは、必ずしも勝つことを目的に柔道と向き合っていない。もちろん勝つ気がない、やる気がない、という意味ではありません。ただ「勝つこと」ではなく「正しく理解すること」を目的としているように思えます。それは普段の練習や試合の雰囲気の中に感じましたし、何より、日本から教えにきた「先生」と呼ばれる私に対する態度がそれを物語っていました。私の実力に対するものではなく、実力を越えたものへの敬意を感じるのです。競技の奥にある、精神の部分にただひたすら学ぼうと私に近づき、色々なことを聞いてきます。嘉納治五郎先生が柔道を確立した本来の目的はまさにこの「精神」だったのではないのでしょうか。柔道が今後世界で普及するため、日本でその価値を再確認するためには、この考え方を理解していく必要があるのではないかと考えました。

今回このような貴重な機会を与えて下さった柔道教育ソリダリティー様、滞在中何から何までお世話して下さいました古森義久様・古森スーザン様に、この場を借りて御礼申し上げます。



準備運動から新しいメニューで指導したワシントン柔道クラブ



柔道の精神に、高い敬意を持っている海軍士官学校柔道部

アラブ首長国連邦(UAE)・アブダビ派遣

2014年10月28日～11月8日の期間、東海大学の支援の下、アラブ首長国連邦(UAE)に光本健次国際担当師範、練馬区立貫井中学校の高橋健司教諭を派遣しました。また、矢澤賢人君を学生ボランティアとして派遣しています。

From October 28th to November 8th, 2014, with the cooperation of Tokai University, we sent Mr. Kenji Mitsumoto, an international coach, and Mr. Kenji Takahashi, a teacher at a junior high school, to the UAE. We also sent Mr. Kento Yazawa to the UAE as a student volunteer.

光本健次国際担当師範の報告です



コーチングセミナーの参加者に修了証を授与する



受身の方向が書いてあるシートを使って、指導する

この度、東海大学と柔道教育ソリダリティーの派遣により、アラブ首長国連邦(UAE)のアブダビで指導者研修会(コーチングセミナー)を開催して参りました。

2014年2月、アブダビ皇太子が東海大学を来校し、山下泰裕理事長(東海大学副学長・スポーツ担当)にUAEでの青少年教育や子どもたちの規律教育のために柔道を導入したいとの支援要請がありました。これを受けて4月中旬、UAEの5つの首長国を私と山口輝義氏(東海大学職員)が訪問しました。そこで、現地の教育及び柔道関係者、日本大使館職員らと、今後の協力・支援について意見交換を行いました。

このような経緯を経て、8月2日～9月2日の期間、UAEジュニアチーム8名が来日、東海大学柔道部及び付属中・高校生と柔道を通しての国際交流を行いました(P7参照)。

UAEでは2015年9月より、15地区の小・中学校で柔道を授業に導入する準備を進めていますが、学校教育機関に良い指導者を送り込むところまで至っていないのが現状です。現地での指導者研修会開催の要望は強く、この度この要請を受け入れることとなりました。

そこで、10月28日～11月8日の期間、柔道グランドスラム・アブダビ大会の視察と、指導者研修会開催を兼ね、UAEを訪問しました。指導者研修会には、7つの首長国より25名程のコーチが集まりました。セミナーは、4日間にわたって行われ、講義(日本柔道の歴史・教育としての柔道・審判理論)、実技(基本動作・安全を考えた各種の受身指導法・練習法・審判法)などを指導しました。最終日には本法人の修了証を授与しました。

今回の指導では練馬区立貫井中学校主幹教諭である高橋健司先生にもお手伝いいただき、学校教育現場の専門家としてご指導いただきました。また、アシスタントとして帯同してくれた東海大学柔道部の矢澤賢人君も、学生として大変貴重な経験を持つことができたと思っています。

なお、滞在期間中にUAE道連盟より定期的な指導者研修会の開催、UAEにおける柔道普及・発展の支援などの要望がありました。この要望にはいくつかの課題(金銭的問題・日程・人材派遣など)もありますが、UAEにおける青少年教育は、日本とUAEとの国際交流、また、我が国の石油輸入問題などの国益のためにも大きな貢献ができるものと思っています。今後も時学とアラブ首長国連邦との交流を続けていくために、ご協力とご理解をお願いしたいと思います。

ロシア・モスクワ派遣

2014年11月5日～12日の期間、日露武道交流年記念事業の一環として、山下理事長と浅井信幸ロシア担当がロシア・モスクワを訪問し、11月9日に行われたモスクワ州の武道センター開所式に参加しました。

From November 5th to 12th, 2014, Mr. Yasuhiro Yamashita, the president of the Solidarity of International Judo Education, and Mr. Nobuyuki Asai, who is in charge of the Russian region, visited Moscow, as a part of the memorial project of the year of Japan-Russia Budo Exchange. Mr. Yamashita and Mr. Asai joined the opening ceremony of the Budo Center in Moscow, held on November 9th.



武道センターの開所式でスピーチを行った山下理事長



山下理事長のサインを求めてたっくんの子どもたちが並ぶ

浅井信幸ロシア担当の報告です

山下理事長が、2014年11月5日～12日まで「2014年日露武道交流年」記念事業の日本武道団モスクワ訪問団副団長としてロシア・モスクワを訪問しました。その公式行事とは別にモスクワ州のムィンチ市当局から要請を受け、武道センター開所式に参加し、私もこちらの行事に同行いたしました。モスクワでは、サンボ70という学校があり、一般授業内容の他に柔道、サンボ(ロシア生まれの総合格闘技)を事業に取り入れ、柔道、サンボによる人間形成を行っています。

そんな中、人口が増えインフラが急速に整い学校が増えてきたモスクワ州に、柔道やサンボのような武道を通じた人間形成が必要との考えで武道センターを開設することになりました。現在は、このセンターの他に新しい武道棟を建設中で、完成は2015年の11月を予定しています。センターの開所式では、山下理事長がセンターからの要請を受け、名誉センター長に就任しました。

山下理事長は、開所式で子どもたちに対し、夢を強く持ち続けることの大切さを話しました。また、今年優秀な成績をおさめた子どもたちに柔道衣をプレゼントしました。

開会式の後に、子どもたちとの交流時間がもうけられ、多くの子どもたちが市のスポーツ機関紙に掲載された山下理事長とプーチン大統領が握手をしているページにサインを求め列を作りました。当日は、日露のメディアがたっくん取材に訪れていました。

これからも「柔道・友情・平和」のミッションに立ち活動していきたいと願っています。最後になりましたが、本法人の活動をご理解下さり、ご支援下さる皆さまに心より感謝申し上げます。

学生ボランティア派遣事業

ラオス・ビエンチャン派遣

2014年8月2日～19日の期間、学生ボランティアとして東海大学大学院体育学研究科1年の石井勇人君をラオスに派遣しました。

From August 2nd to 19th, 2014, we sent Mr. Hayato Ishii from the Graduate School of Physical Education, Tokai University to Laos, as a student volunteer.



日本のODAにより建設されたLaoJapan武道センターで指導する



ラオスナショナルチームメンバーに相手を教える

石井勇人君(東海大学大学院体育学研究科)の報告です

この度、2014年8月2日～19日の間、柔道技術指導のため、ラオス人民民主共和国へ行ってまいりました。ラオスでは、派遣先であるラオス柔道ナショナルチーム(約20名)の合宿に参加し指導を行いました。稽古内容は、朝練、午前練、午後練の1日3回練習を、月曜日から金曜日まで繰り返します。ラオス柔道のレベルは、日本と差があるように感じました。けれども、彼らの運動神経は非常に高く、走りに自信があった私ですが、ランニングトレーニングでは彼らについていくのがやっとでした。選手の年齢層は18才～30才前半で、学校の授業や仕事のため、やむ負えない事情で練習をすることが難しい状況の選手もいました。

週末には地域の町道場へ出向き、少年柔道の指導を行いました。道場には約200人ほどの子どもたちが集まり汗を流していました。練習内容は、基本的に忠実で、日本と同様の内容でした。受身や礼儀、柔道家としての振る舞いの指導が徹底しており、日本人の私から見ても非常に素晴らしいと感じました。しかし、子どもたちの中には、柔道衣を着ておらず、普段着のまま柔道をしている子どもがいました。おそらく柔道衣を買うお金が無いのだろうと思います。そんな中でも、必死に練習に取り組み、笑顔を絶やさず、柔道に夢中になっていました。その姿を見ているうちに、「日本はとて恵まれていること。私が抱いていた幸せの定義がラオスと日本では異なる」と感じました。

今回のラオスでの指導を通し、多くのことを学ぶことが出来ました。当初は、指導を行う上で、言葉の壁に悩まされるのではないかと不安に思っていました。しかし、実際には言葉の壁などなく、自分自身が勝手に作り出した「心の壁」であるということも分かりました。柔道に対する情熱は全世界共通であり、言葉の壁を越え、柔道を通じて心の交流をはかることが可能であることを感じ、気付く事が出来ました。今回このような貴重な機会を与えてくださった、柔道教育ソリダリティーの皆さま、ラオス柔道連盟会長ケマサ様、JICAシニア海外ボランティアの坂東先生、お世話になった皆さまに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

アラブ首長国連邦(UAE)・アブダビ派遣

2014年10月28日～11月8日の期間、アラブ首長国連邦(UAE)に光本健次国際担当師範、練馬区立貫井中学校の高橋健司教諭と共に、学生ボランティアとして矢澤賢人君を派遣しました。

From October 28th to November 8th, 2014, we sent Mr. Kento Yazawa to the UAE, as a student volunteer.



柔道グランプリ・アブダビに出場した選手がトレーニングを行っていた宿舎で



審判方法について、高橋健司先生の指導を手伝う

矢澤賢人君(東海大学文学部歴史学科)の報告です

私がUAEに行くことになった経緯は、1ヶ月の間UAEのジュニアチームの受け入れのお手伝いをしてきたからです。初めての海外で出国までの間は、異国の地で10日間やっていけるのだろうかかと不安でいっぱいでした。全く言葉が通じないのではないかと、UAEチームを通してでしかUAEを知らなかったのでは他の人はどんな人達なのだろうと思いました。

11月3日から4日間、コーチングセミナーが開催されました。自己紹介のあいさつの時からとても緊張しましたが、コーチの方たちが笑顔で迎えてくれました。このセミナーに参加していたコーチの方々はエジプト、ペラルーシ、サウジアラビアなどのUAE以外の様々な国籍の人々がいました。セミナーの内容については光本先生が柔道の歴史をお話になり、高橋先生が安全指導、礼法、受身などの初心者向けのコーチングを行いました。実技の見本を行った時、失敗の連続で恥ずかしい思いをしましたが、光本先生や高橋先生がフォローして下さいました。コーチの方々も優しく笑ってくれ、何とかこなしていくことが出来ました。

2日目のセミナー後、コーチの方々に誘われて練習に参加しました。形について教えてほしいと何度か言われたので、翌日行われる昇段審査を気にしてのことだと思いました。3日目はコーチの方々が講道館の段位を貰うために必要な形の練習と講道館昇段審査を行いました。誰もがとても上手にできており、自分が教えたということもあり少し嬉しく感じました。4日目は高橋先生がコーチの方々に審判法について指導しました。私はまた手本となったのですが、審判法については少し曖昧なところがあったので、一緒に学ぶような気持ちで取り組みました。この日の閉会式の最後に光本先生からコーチの方々に修了証を渡し、全員で写真を撮りました。

このような貴重な機会を与えてくださった柔道教育ソリダリティーの皆さま、今セミナーにご協力して下さいました米田先生、アナマン先生、関係者の皆さまに厚く御礼いたします。ありがとうございました。

留学生柔道体験

2014年7月16日、8月2日に東海大学日本語別科の留学生らを対象に、光本健次国際担当師範の指導の下、柔道体験教室を開催しました。

On July 16th and August 2nd, 2014, we held a judo trial class for exchange students who were learning Japanese at Tokai University. Mr. Kenji Mitsumoto, an international coach, gave a lecture.



体験授業後に、光本師範と記念撮影



初めての体験授業は、受け身の練習から

2014年7月16日、8月2日に東海大学日本語別科の留学生らを対象に、光本健次国際担当師範の指導の下、柔道体験教室を開催しました。

この教室には、ナイジェリア、バングラデシュ、サウジアラビア、マレーシア、インドネシア、タイ、台湾、韓国、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、イタリア、アメリカなど13カ国、28名の留学生が参加しました。留学生は、初めに柔道衣の着方を教わり、実際に道場で柔道を体験しました。「見るのと、体験するのでは全然違う。貴重な経験をすることが出来てとても嬉しい」と感想を述べました。

望星学塾「国際親善週間」

2014年7月21日～8月8日の期間、東京都武蔵野市望星学塾にて「国際親善週間」が開催されました。本法人は、親善週間に来日したチームの東海大学での受入れ支援を行いました。また、同期間に来日していた、日中友好青島柔道館の小学生チーム、UAEのジュニアチームが親善週間に参加しました。

From July 21st to August 8th, 2014, the "International Friendship Week" was held at the Bosei Gakujuku, Musashino City, Tokyo. We supported Tokai University to welcome overseas teams visiting Japan during the friendship week.



国際親善週間に参加した青島柔道館の子どもたち

東海大学望星学塾主催の国際親善週間に支援しました。国際親善週間は2009年に開始され、海外で柔道を学ぶ青少年を対象にした事業“Study Abroad Japan with Judo”。望星学塾(松前柔道塾)での稽古で柔道の技術向上を目指すこと、日本の歴史や文化を学び、異文化理解を深めるなど、柔道を通じた人間教育を目的としています。

今年はハワイ、グアム、カナダ、本法人で受入れをしていたUAE、日中友好青島柔道館の子どもたちが参加しました。7月23日には、橋本副理事長が子どもたちに「柔道創立者と望星学塾の活動について」の演題で話しました。7月25日は、松前柔道塾で行われた塾内大会に参加。8月6日には、東海大学で行われた「学園オリンピック」に参加しました。試合では、日本の子どもたちと実力差があり負けてしまいましたが、日本の柔道に触れ、子どもたちとも様々な交流を持ちました。

第4回望星ジャンボリー

2014年8月30日、31日の2日間、第4回望星スポーツジャンボリーが開催されました。UAEジュニアチームがこの大会に参加しました。

On August 30th and 31st, 2014, the 4th Bosei Sports Jamboree was held.



UAEで指導した光本師範と山口輝義先生も応援！

2014年8月30日～31日、東海大学武道館で開催された望星学塾主催の第4回望星スポーツジャンボリーを支援しました。

この大会は、日頃の練習成果を確認するだけでなく、参加者相互の交流を深め、情報交換を図ることを目的に開催しています。今大会は、本法人で受け入れていたUAEジュニアチームも参加し、国内外の20団体、参加者293名となりました。

30日の開会式では、橋本副理事長が挨拶し、「東海大学湘南キャンパスでは、柔道だけでなく、さまざまなスポーツの選手たちが練習を行っています。そうしたのを見て多くのことを感じて下さい。また、今日はUAEの選手も参加しています。この機会に、柔道を通じて世界中の仲間たちと友人になってほしいと思います」と話しました。次に、光本国際担当師範が、来日中のUAEジュニアチームの紹介を行い、監督のアナマン氏から滞在期間中のプログラムに対する謝辞が述べられました。試合後に行われた懇親会では、多くの選手がUAEチームに話しかけるなど国を超えた交流を持つことが出来ました。

Rusty Kanokogi Memorial 第34回塾友杯柔道少年大会

2014年11月30日、東京都武蔵野市の東海大学望星学塾にてRusty Kanokogi Memorial 第34回塾友杯少年柔道大会が開催されました。本法人のコーチングセミナー研修生が審判員として参加し、少年柔道の大会運営を学びました。

On November 30th, 2014, the Rusty Kanokogi Memorial, the 34th Bosei Gakujuku Friendship Cup Junior Judo Tournament was held at the Tokai University Bosei Gakujuku, Musashino City, Tokyo. The trainees of our coaching seminar refereed the tournament, and learned how to operate a junior judo competition.



真剣な表情で審判を行うコートジボワールからの研修生ジョン・ノエル氏

2014年11月30日、東海大学望星学塾主催のRusty Kanokogi Memorial 第34回塾友杯少年柔道大会を共催しました。大会には、24団体282名が参加しました。2014年度コーチングセミナーに参加している外国人研修生8名がこの大会を視察、特別に審判員として参加しました。少年柔道の審判を行うことが初めての研修生もおり難しい場面も見られましたが、研修生からは「私の国では、少年柔道大会がない。少年柔道大会の運営方法を学ばせていただくことは、大変貴重な経験」との声が出ました。

本大会では、女子柔道の普及発展に尽力した方ヘラスティ・カノコギ賞を授与していますが、今年は、三浦玲那さん、高井亜矢子さん、中西美智子先生が選ばれました。模範演武では、子どもの頃に大会に参加した東海大学柔道部の長澤憲大君が上水研一朗監督の説明で得意技の披露を行いました。試合では、各選手が白熱した試合を展開し参加者相互の友情を深める良い大会となりました。

第6回中郡柔道研修大会

2014年12月7日、神奈川県大磯町にて「第6回中郡柔道研修大会」が開催されました。本法人は、2013年よりこの大会を支援しています。

On December 7th, 2014, the 6th Naka District Judo Training Meeting was held in Oiso, Kanagawa. We have been supporting this meeting since 2013.



中郡の道場に在籍する皆さんによって準備された会場で、白熱した試合が展開される

2014年12月7日、神奈川県立二宮高等学校体育館にて中郡柔道研修大会実行委員会主催の第6回中郡柔道研修大会を協賛しました。本大会は、大会名にあるように、柔道は競技だけでなく「学びの場」であるという意味から、大会当日に講演会や柔道を勉強できるイベントブースが開かれています。講演会では、全日本柔道連盟コンプライアンス委員会の宮嶋泰子委員（テレビ朝日エグゼクティブアナウンサー）が「やる気のスイッチを入れる。そしてMIND」の講演テーマで話しました。イベントブースでは、下肢筋力測定や柔道体験コーナーが設置され、待ち時間が必要なほど並ぶ場面も見られました。試合には、小中学生158名が参加し、小学生の部では男女が学年体重別のリーグ戦で戦いました。本大会には、スペシャルオリンピックス神奈川の選手も参加しており、参加者は「今後、全国のスペシャルオリンピックスに柔道競技が広がるきっかけになれば」と話していました。

井坪圭佑氏が逝去



たくさんのボツワナの教え子たちに囲まれた井坪氏

東海大学体育学部卒業生でJICA青年海外協力隊としてボツワナで活動中だった井坪圭祐氏が、2014年10月9日南アフリカのケープタウンにて不慮の事故により亡くなりました。井坪氏は、東海大学在学中に、外国からの選手受入れを担当し、外国人選手と多くの交流を持ちました。また、本法人学生ボランティアとしてミャンマーに派遣した際には、稽古の30分前に道場に行き、選手とコミュニケーションをはかるなど常に熱心な指導を行っていました。

2013年7月より青年海外協力隊としてボツワナに派遣され、現地のナショナルチームの指導や小学校を巡回指導するなどボツワナの柔道普及に尽力してきました。ボツワナ柔道連盟からは、「先生が在任してから、柔道選手達が技術的、精神的に劇的な変化を遂げ、大きな試合で複数のメダルを獲得するのを目にして来ました。井坪先生は熱心かつ謙虚なプロフェッショナルで、いつも選手達の希望を最優先にされました。選手達にとって、先生はコーチであるだけでなく、信頼のおける相談相手であり、友人であり、そして助言者でもありました。先生は、ボツワナの柔道選手を2020年の東京オリンピック・パラリンピックに出場させることが夢だと話していました。私達は先生の夢を受け継ぎ、それを達成するために努力してまいります」とメッセージが届きました。慈に深く追悼の意を表し、謹んで冥福をお祈りいたします。

実施事業

外国からの選手受入事業



2015年2月10日～3月10日及び2月19～3月17日の期間、UAEより男子選手2名を招へいしました。

From February 10th to March 10th and February 19th to March 17th, 2015, we invited two male players from the UAE.



2015年2月13日～2月15日、モンゴル男子ナショナルチームが復興支援三春大会へ出場しました。

From February 13th to 15th, 2015, the Mongolian men's national judo team entered the Reconstruction Assistance Judo Tournament in Mihar, Fukushima.



2015年3月19日～4月20日の期間、コスタリカより男子柔道選手1名を招へいしました。

From March 19th to April 9th, 2015, we invited one male judo player from Costa Rica.



2015年3月20日～4月11日の期間、セネガルより女子選手1名を招へいしました。

From March 20th to April 11th, 2015, we invited a female player from Senegal.



2015年4月3日～4月22日の期間、キルギスよりコーチ及び女子選手計5名を招へいします。

From April 3rd to 22nd, 2015, we will invite five people, including coaches and female players, from the Kyrgyz Republic.



2015年2月23日～3月16日の期間、びわこ成蹊スポーツ大学から中原花歩さんを受入れました。

From February 23rd to March 16th, 2015, we welcomed some interns.

外国への指導者派遣事業



2015年3月2日～3月11日の期間、中国「日中友好青島柔道館」及び「日中友好南京柔道館」へ指導者、学生ボランティアを派遣しました。

From March 2nd to April 11th, 2015, we sent student volunteers and coaches to the Japan-China Judo Friendship Centers in Tsingtao and Nanjing, China.



外務省、SFTプログラム等と協力し、コスタリカ、スワジランドなどへ柔道衣を送付しています。また要請に応じ他地域へも送付していきます。

With the cooperation of the Ministry of Foreign Affairs and the SFT (Sport for Tomorrow) program, we have sent judo uniforms to Costa Rica and Swaziland. We will also send judo uniforms to other countries if the need arises.

講演会事業



2015年5月28日17時より日本外国特派員協会(有楽町)にて、第17回講演会を開催します。

On May 28th, 2015, we will hold the 17th annual lecture meeting.

教材制作事業



「柔道きほん運動」DVDを制作し、要請に応じて各団体へ配布していきます。

We will create a DVD, "The Basic Movements of Judo", and will distribute it to organizations that request it.

リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、下記住所にヤマト運輸又は佐川急便でお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3524、担当:小澤)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室内
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

公式Youtubeチャンネルのご案内

本法人の公式Youtubeチャンネルを制作しています。コーティングセミナー2014の活動報告の動画、「ケガ防止」DVDの動画などを見ることが出来ます。是非、ご覧下さい。

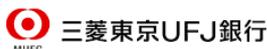
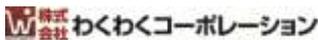
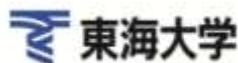


柔道教育ソリダリティー



2014年度 寄付・団体会員一覧

— Supporters —



三井物産(株)、(公財)竜の子財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、日本たばこ産業(株)、羽田タートルサービス(株)、秀和ビルメンテナンス(株) サポートセンター(株)、アスカコーポレーション(株)、(株)東芝、(株)わくわくコーポレーション、早川繊維工業(株)、(株)神田製作所(株)小松製作所、大成建設(株)、三井住友海上火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)サンレー

(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、新井運送(株)、植木会計事務所、(株)オネスト、(株)オピカ、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、神奈川柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、(株)神田製作所 八親会、共和電子(株)、京王観光(株)、京王電鉄(株)、(株)廣洋、(学)国際学園 九州医療スポーツ専門学校、相模トライアム(株)、(株)三技協、(株)シー・ピー・オー設計、(医社)鈴木レディースクリニック、(株)鈴鹿蒲鉾本店、(株)成通、(株)セレモア、総合警備保障(株)、(株)ダイナミックスパースンズ東京、(株)築地すし好、(株)テック、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学女子柔道部、(株)東海ビルメンテナンス、(公財)東京コミュニティ財団・ファンドクリエーション基金、(公財)東京都柔道連盟、(株)東芝社会インフラシステム社、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、農業生産法人(有)十津川農場、(株)豊蔵コーポレーション、(株)ニッセンホールディングス、日本BS放送(株)、(医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、浜友観光(株)、(株)ハート出版、(株)富士サービス、富士ゼロックス神奈川(株)、(株)藤野製作所、(株)ホームインブループメントひろせ、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、三菱重工(株)、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、(医)明正会、柳田国際法律事務所、(株)山口工務店、(株)ユーミーネット、横浜市柔道協会、(学)了徳寺学園、(学)了徳寺大学、(株)レイクウッドコーポレーション

(50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npo-jks.jp>

| | 個人 | 団体 |
|--------|-----|----|
| 正会員 | 291 | 48 |
| 寄付 | 18 | 31 |
| アドバイザー | 37 | |

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありませぬ

■ 郵便振替 口座記号番号:00200-7-37175 加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ